

## 8/29-9/4 聖書日課と分かち合い

### 8月29日(月) イザヤ 36:18~20 それでも主は救い出すと言うのか

18 ヒゼキヤが、『主は我々を救い出してください』と言っても、惑わされるな。諸国の神々は、それぞれ自分の地をアッシリア王の手から救い出すことができたであろうか。19 ハマトやアルパドの神々はどこに行ったのか。セファルワイムの神々はどこに行ったのか。サマリアをわたしの手から救い出した神があったらどうか。20 これらの国々のすべての神々のうち、どの神が自分の国をわたしの手から救い出したか。それでも主はエルサレムをわたしの手から救い出すと言うのか。」

アッシリア王はラブ・シャケ（高官）を遣わしヒゼキヤ王に降伏を迫ります。悪魔のようなラブ・シャケはイスラエルの神が数多くあるほかの神々のひとつにすぎず（神の栄光を他の偶像と同じところまで引き下げた）、アッシリアの神がイスラエルの神ヤハウェを倒すことができると叫びます。ヒゼキヤ王は敵の攻撃に対する正しい対処法を神から示されており、民にも前もって教えていました。それは沈黙することです。沈黙のうちに心を静め神に思いを向けるとき、そこに神のご臨在と介入があり、悪魔の攻撃から私たちを守り助けてくださいます。

### 8月30日(火) イザヤ 46:5~7 その像は救ってくれない

5 お前たちはわたしを誰に似せ

誰に等しくしようとするのか。

誰にわたしをなぞらえ、似せようというのか。

6 袋の金を注ぎ出し、銀を秤で量る者は

鋳物師を雇って、神を造らせ

これにひれ伏して拝む。

7 彼らはそれを肩に担ぎ、背負って行き

据え付ければそれは立つが

そこから動くことはできない。

それに助けを求めて叫んでも答えず

悩みから救ってはくれない。

袋から金や銀を惜しげなく出し、煌びやかな像を造ったとしてもそれは神ではありません。モーセがシナイ山で神から律法を受けている間にイスラエルの民は金の子牛像を礼拝していました（出エジプト32）。人はなぜ見えるものに神を置き換えてしまうのでしょうか。人の手によって造られた像は人を背負う神ではなく、疲れ切った家畜の重荷にしかならないもの（46:1）です。まことの神さまは唯一であり、私たちを担い、背負い、救い出してくださいのお方です。

### 8月31日(水) 詩篇 32:7 あなたはわたしの隠れが

あなたはわたしの隠れが。苦難から守ってくださいの方。救いの喜びをもってわたしを囲んでくださる方。〔セラ

私たちは失敗や間違いをしてしまうことがあります。大切なことはそれをどのように反省し、悔い改めるかだと思います。ダビデは罪を犯し、それを認めず、しかしその後告白し、神からの赦しを与えられました。自分の罪を神に告白し、ひたすら神の赦しを願い、神ご自身が解決してくださったとき、ダビデは神との関係を回復することができました。罪の赦しを与えてくださる神は苦難から守り、救いの喜びで私たちを取り囲んでくださるお方です。

## **9月1日(木) 詩篇 23:5 わたしを苦しめる者を前にしても**

わたしを苦しめる者を前にしても あなたはわたしに食卓を整えてくださる。わたしの頭に香油を注ぎ わたしの杯を溢れさせてくださる。

敵を前にした食事の風景が描かれています。食卓を囲むということは、食事を一緒にとるという分かち合いです。主イエスは私たちと敵との間に来てくださいました。私たちと敵を和解させるために…。主の食卓に招かれた私たちは香油の歓待を受け、杯はあふれるほどです。主はインマヌエルなる神として守り導びき、恐れは去り、慰めを与えてくださるお方です。私たちはいつも主の家に帰りそこに住まうことが主のみ名によって約束されています。

## **9月2日(金) イザヤ 45:21 救いを与える神はほかにはない**

意見を交わし、それを述べ、示せ。だれがこのことを昔から知らせ 以前から述べていたかを。それは主であるわたしではないか。わたしをおいて神はない。正しい神、救いを与える神は わたしのほかにはない。

イザヤ 45 章には「わたしをおいて神はない。ほかにはない」と同じ言葉が何度も繰り返されています。なんとしても私たちにそのことを知ってもらいたいという神さまの願いが込められています。イスラエルの神を唯一の神と告白するものは、すべて神の民の一員とされ主イエス・キリストを主と告白する教会の希望へとつながります。

## **9月3日(土) ルカ 22:31~32 たとえ躓いてしまうことがあっても**

31 それと同じように、あなたがたは、これらのことが起こるのを見たら、神の国が近づいていると悟りなさい。32 はっきり言っておく。すべてのことが起こるまでは、この時代は決して滅びない。

サタンは弟子たちを信仰から離れさせようと試みます。弟子たちの信仰が本物か、にせ物かを小麦のようにふるいにかけているのです。信仰に揺さぶりをかけられても、彼らの信仰がなくならるようにイエスさまは祈ってください。「知らない」と3度も言ってしまったペトロと同じ弱さを私たちは持っています。イエスさまはそんな私たちのことも憐れんで祈ってくださるお方です。

## **9月4日(日) ダニエル 3:13~30 燃え盛る炉の中で**

13 これを聞いたネブカドネツアル王は怒りに燃え、シャドラク、メシャク、アベド・ネゴを連れて来るよう命じ、この三人は王の前に引き出された。14 王は彼らに言った。

「シャドラク、メシャク、アベド・ネゴ、お前たちがわたしの神に仕えず、わたしの建てた金の像を拝まないというのは本当か。15 今、角笛、横笛、六絃琴、豎琴、十三絃琴、風琴などあらゆる楽器の音楽が聞こえると同時にひれ伏し、わたしの建てた金の像を拝むつもりでいるなら、それでよい。もしも拝まないなら、直ちに燃え盛る炉に投げ込ませる。お前たちをわたしの手から救い出す神があるか。」

16 シャドラク、メシャク、アベド・ネゴはネブカドネツアル王に答えた。

「このお定めにつきまして、お答えする必要はございません。17 わたしたちのお仕える神は、その燃え盛る炉や王様の手からわたしたちを救うことができますし、必ず救ってくださいます。18 そうでなくとも、御承知ください。わたしたちは王様の神々に仕えることも、お建てになった金の像を拝むことも、決していたしません。」

19 ネブカドネツアル王はシャドラク、メシャク、アベド・ネゴに対して血相を変えて怒り、炉をいつもの七倍も熱く燃やすように命じた。20 そして兵士の中でも特に強い者に命じて、シャドラク、メシャク、アベド・ネゴを縛り上げ、燃え盛る炉に投げ込ませた。21 彼らは上着、下着、帽子、その他の衣服を着けたまま縛られ、燃え盛る炉に投げ込まれた。22 王の命令は厳しく、炉は激しく燃

え上がっていたので、噴き出る炎はシャドラク、メシャク、アベド・ネゴを引いて行った男たちをさえ焼き殺した。23 シャドラク、メシャク、アベド・ネゴの三人は縛られたまま燃え盛る炉の中に落ち込んで行った。

24 間もなく王は驚きの色を見せ、急に立ち上がり、側近たちに尋ねた。

「あの三人の男は、縛ったまま炉に投げ込んだはずではなかったか。」

彼らは答えた。

「王様、そのとおりでございます。」

25 王は言った。

「だが、わたしには四人の者が火の中を自由に歩いているのが見える。そして何の害も受けていない。それに四人目の者は神の子のような姿をしている。」

26 ネブカドネツアル王は燃え盛る炉の口に近づいて呼びかけた。

「シャドラク、メシャク、アベド・ネゴ、いと高き神に仕える人々よ、出て来なさい。」すると、シャドラク、メシャク、アベド・ネゴは炉の中から出て来た。27 総督、執政官、地方長官、王の側近たちは集まって三人を調べたが、火はその体を損なわず、髪の毛も焦げてはおらず、上着も元のままで火のおいすらなかった。28 ネブカドネツアル王は言った。

「シャドラク、メシャク、アベド・ネゴの神をたたえよ。彼らは王の命令に背き、体を犠牲にしても自分の神に依り頼み、自分の神以外にはいかなる神にも仕えず、拝もうとしなかったので、この僕たちを、神は御使いを送って救われた。29 わたしは命令する。いかなる国、民族、言語に属する者も、シャドラク、メシャク、アベド・ネゴの神をのしる者があれば、その体は八つ裂きにされ、その家は破壊される。まことに人間をこのように救うことのできる神はほかにはない。」30 こうして王は、シャドラク、メシャク、アベド・ネゴをバビロン州で高い位につけた。

金の像を拝めというネブカドネツアル王の命令に、3人の青年は揺るぎない信仰によって脅しに屈しない態度を貫きます。絶対絶命の大ピンチのときでも、自分たちが本当に信じる神が必ず救ってくださるという強い信仰をもってお委ねしていたのです。神さまは私たちが試練に会わないように約束されていませんが、試練の中にあってもそれに耐え、逃れる道も備えてくださると約束してくださっています。

(担当：N.U.)



